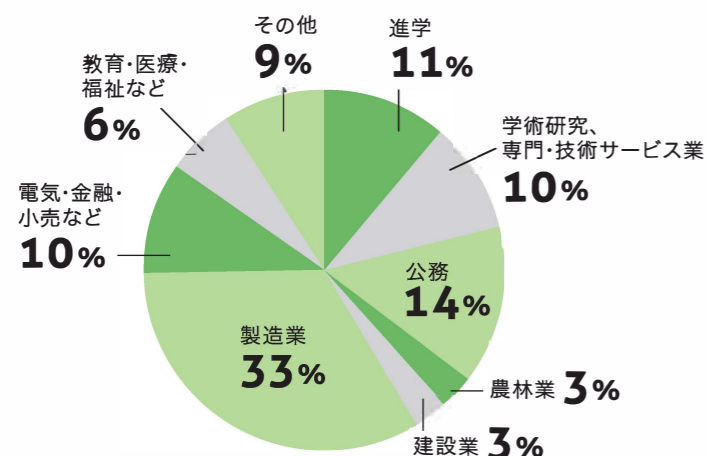


大学院修士課程修了生の進路



POINT!

- ・求職者数に対して求人数は十分に多い。
- ・博士課程進学者、学術研究、公務員など専門性に特化した職業人材への進学・就職が全体に3割を占める。
- ・企業のニーズを踏まえ、国際展開力や総合力を身につけた人材の育成が必要。

■主な就職先

【公務員】

農林水産省／経済産業省／文部科学省／林野庁／特許庁／東京都／神奈川県／千葉県／埼玉県／愛知県／岡山県／長崎県／横浜市／川崎市／飯能市／

【企業・独立行政法人】

トヨタ自動車／クボタ／ヤマハ／パナソニック／東日本電信電話／東京ガス／住友林業／大和ハウス工業／日本工営／三井物産／出光興産／資生堂／カネボウ化粧品／花王／大塚製薬／中外製薬／小林製薬／富士薬品／ツムラ／協和発酵バイオ／ニチレイグループ／日本ハム／キューピー／明治／森永製菓／雪印メグミルク／日本製粉／エスビー食品／日清食品／カゴメ／ジョンソン・エンド・ジョンソン／積水化学工業／日清紡ホールディングス／伊藤忠飼料／農業・食品産業技術総合開発機構 ほか

農学で地球規模の課題に挑む 「実践力人材」を育成します！



農学府長
千葉 一裕

皆さんは、現在の世界の状況をどのように捉えていますか？日本では、高齢化と人口減少が加速する一方、地球レベルでは、2050年までに世界人口が90億人を超えると予測されています。この状況において、世界中の人々誰もが取り残されることなく、互いを理解しながら、夢を共有できる持続可能な社会を実現するために何ができるのか——。この人類共通の課題に挑むのが「農学」のミッションだと考えています。

農学＝農業のための学問ではありません。農学とは、自然の恵みについて深く知り実践することに留まらず、自然と人間のつながりや人間社会におけるさまざまな活動を総合的に捉える学問です。ここで核になるのが難かな「専門性」です。自らの専門を見極めながら、自然科学や社会科学を横断した幅広い学びに触れることで、本当に社会を動かせる実践力を身につけることができます。

今回の大学院農学府の改組は、「農学」を基盤として、地球規模の課題に挑める人材を育成するための大学院教育の新しい形を提示しています。キーワードは、「ボーダーレス」。旧来の9専攻の全ての分野を1専攻に集約し、専門分野間の学術交流を活性化します。また、海外の研究留学や提携大学とのダブルディグリープログラムも整備。グローバル社会のニーズに応えるスキルの養成にも注力していきます。また、産学官連携プロジェクトなどを通して、積極的に社会人と共に学べる場を設け、実社会の現場で課題を解決できる実践力を鍛えます。

東京農工大学には、世界レベルの研究実績があります。ここで専門的な先端研究活動に取り組みながら、複数領域を俯瞰する能力を身につけ、次世代の農業社会基盤、持続的な資源管理、生物新機能の探索などを実践的に先導し、グローバルに活躍できる人材を育成します。

START!! NEXT 農学府



2019年4月

大学院農学府が進化します！

東京農工大学



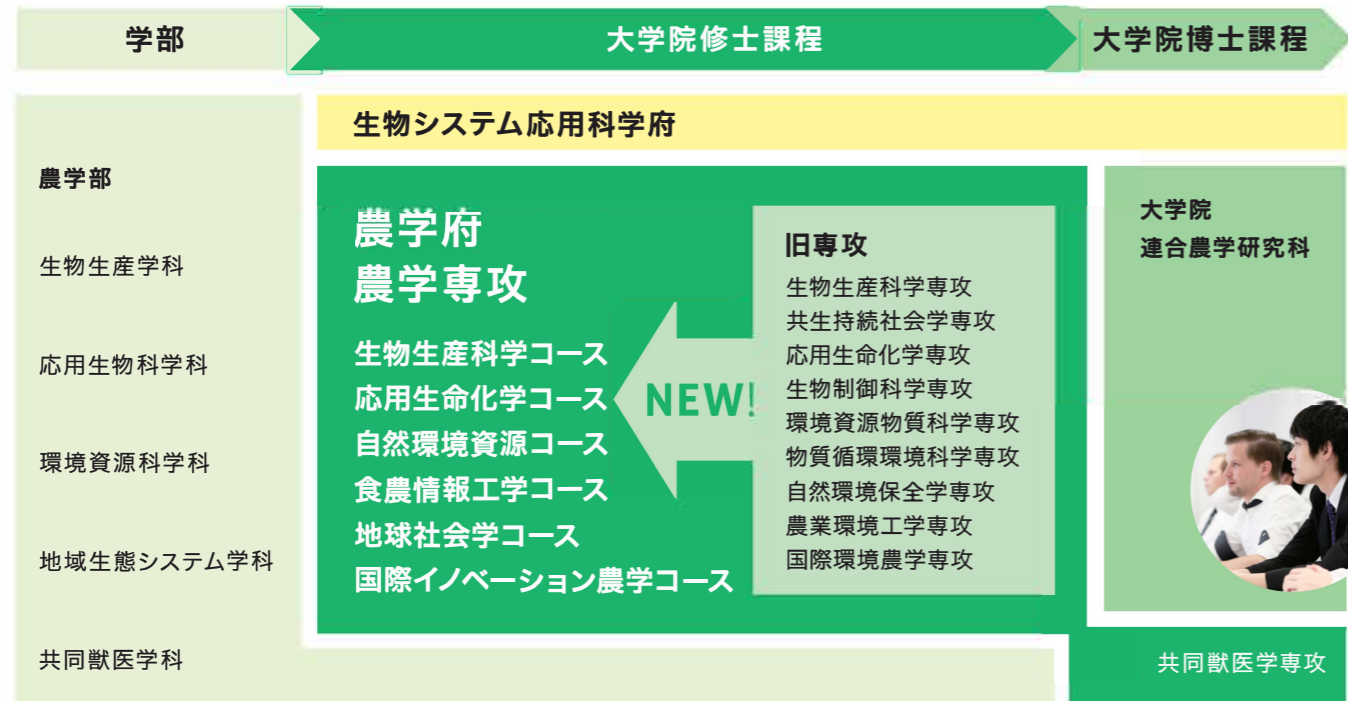
東京農工大学 大学院農学府 TEL 042-367-5654

〒183-8509 東京都府中市幸町3-5-8 <http://www.tuat.ac.jp/>



農学で世界を変えていく！

次世代のニーズに応える1専攻6コースへ



- MISSION**
- ・専門性と俯瞰性を併せ持つ次世代農学のリーダーを育成
 - ・博士課程への接続を想定した高度研究人材を育成
 - ・国際化に対応した実務能力の強化

持続的สังคมに向けた農学分野のMISSION再定義



生物生産科学コース

国内外の農業、食料問題、生物生産とその制御、植物保護技術等におけるさまざまな課題を解決するための幅広い分野を学べるコース。生産環境科学、植物生産科学、動物生産科学、生物制御科学に関わる最先端の研究を実践する能力を鍛えます。人類の生存を支える安定的な生物生産システムの構築を目指すための高度な専門知識と論理的、科学的な思考力を身につけた人材を養成します。

応用生命化学コース

ヒト・動物・植物・微生物などの生命現象と生体分子機能の分子レベルでの理解と探求に必要とされる高度な専門知識を身につけられるコース。独創的・革新的な研究を自ら率先して行い、発展できる実践力を鍛えます。生命科学に関する世界最先端の知識と技術を習得し、国際的な視野から人類社会の持続的発展に寄与する創造力豊かな「アグロライフケミスト」を養成します。

自然環境資源コース

バイオマスを中心とした天然資源の生産、変換、再資源化など低環境負荷資源循環システムの構築、環境計測・現象解明・モデリングといった専門技術、人間社会や地域をつなぐ最新実践法などを横断的に学べるコース。生物圏環境を守り、森林資源を生かすための最先端の知識・技術を習得し、自然環境の持続的利用と保護・回復に寄与する人材を養成します。

食農情報工学コース

農業生産・自然環境・農作業・地域生活における諸現象の構造や機能を解明するための革新的な計測手法、データ解析および将来予測手法に関する高度な専門技術を修得できるコース。人類の生存に関わる食料問題を基軸とし、地域レベルから地球規模という各スケールで抱える環境保全や農業・環境資源の有効活用などの実践的課題の解決に挑むことのできる人材を養成します。

地球社会学コース

環境共生型の持続可能な社会構築のために、農学諸分野の科学技術にかかわる基礎知識を踏まえて、人文社会科学の総合的視点からのアプローチに基づく研究に取り組みます。共生人間学・環境社会関係学・食料環境経済学の専門分野における革新的学術研究を併せて実施し、企画・課題遂行・調整などに卓越した能力を有する、広い視野に立つ専門家及び研究者を養成します。

国際イノベーション農学コース

世界の農山村の持続的開発と社会基盤の維持発展に貢献できるよう、革新的な食料生産、環境保全、次世代型生物生産技術や感染症対策に関する科学技術の専門知識を養成するコース。国際的な情報発信や課題解決のための語学とコミュニケーション能力も鍛えます。グローバルな視野と高度な専門知識を持ち、多様な学問分野と連携しながら課題解決を行える人材を養成します。

